

文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究「赤道大気上下結合」

平成 18 年度公開ワークショップ

日 時 平成 18 年 9 月 14 日(木) 10:00～17:40 (18 時～20 時 懇親会(有料))  
15 日(金) 9:20～18:10  
場 所 京都大学 百周年時計台記念館 国際交流ホール III (2 階)  
(ホームページ: <http://www.kyoto-u.ac.jp/top2/11-top.htm>)  
主 催 「赤道大気上下結合」総括班  
(ホームページ: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/cpea/>)  
コンビーナー 佐藤 亨(京大情報学)、山本 衛(京大 RISH)

プログラム

9 月 14 日(木)

○開会セッション(座長: 佐藤亨)

10:00-10:10 コンビーナーあいさつ  
佐藤亨(京大情報学)

10:10-10:50 赤道大気上下結合研究の総括に向けて  
深尾 昌一郎(京大 RISH)

○セッション 1: 赤道域における大気波動と擾乱の励起(座長: 山本衛)

10:50-11:10 赤道大気レーダー長期連続観測による赤道大気波動の解明  
— 研究進捗状況 —  
山本 衛(京大 RISH)

11:10-11:30 赤道大気レーダーによる対流圏内の鉛直流観測  
山本真之(京大 RISH)・庭野将徳(JAMSTEC 地球環境フロンティア  
研究センター)・西憲敬(京大理)・阿保真(首都大システムデザイン)・  
熊谷博・大野裕一・堀江宏昭 (NICT)・永田肇・堀之内武・  
山本衛・橋口浩之・深尾昌一郎(京大 RISH)・岡本創(東北大理)

- 11:30-11:50 地球観測システム構築推進プラン「海大陸レーダーネットワーク構築(HARIMAU)」について  
橋口浩之(京大 RISH)・山中大学・森修一・城岡竜一・  
伍培明(JAMSTEC 地球環境観測研究センター)・  
川島正行・藤吉康志(北大低温研)
- (11:50-13:00) === 昼食 ===
- 13:00-13:20 Observational study on westerly wind burst over Sumatra, Indonesia by the  
Equatorial Atmosphere Radar — A case study during the first CPEA campaign —  
Tri Handoko Seto (京大 RISH, BPPT)・山本真之・橋口浩之・  
深尾昌一郎(京大 RISH)・下舞豊志(島根大総合理工)・  
阿保真(首都大システムデザイン)・Mahally Kudsy (BPPT)
- 13:20-13:40 EAR データを用いた層状降水域での鉛直流の解析  
西憲敬(京大理)・山本真之(京大 RISH)・下舞豊志(島根大総合理工)・  
濱田篤(京大理)・深尾昌一郎(京大 RISH)
- 13:40-14:00 ROCSAT-1 と赤道大気レーダーによる plasma blob とコヒーレントエコーの  
同時観測  
横山竜宏(名大 STE)・Shin-Yi Su (NCU, Taiwan)・深尾昌一郎(京大 RISH)
- 14:00-14:20 赤道大気レーダーと流星レーダーを用いた電離圈イレギュラリティと  
下部熱圏風速の比較  
横山竜宏(名大 STE)・ Amit K. Patra (NARL, India)・  
山本衛・中村卓司・津田敏隆・深尾昌一郎(京大 RISH)
- === 休憩 ===
- セッション 2: 赤道域における大気波動と熱圏電離圈変動 (座長: 小川忠彦)
- 14:40-15:00 赤道域電離圈・熱圏変動の研究 —最近の成果—  
小川忠彦・塩川和夫・大塚雄一 (名大 STE)・齊藤昭則 (京大理)
- 15:00-15:20 GPS 全電子数を用いた赤道域電離圈擾乱の 6-8 日周期変動  
大塚雄一・津川卓也・横山竜宏・小川忠彦(名大 STE)・  
齊藤昭則・西岡未知(京大理)

- 15:20-15:40 GPS 受信機網データを用いたプラズマ・バブル発生頒布の  
空間変化・時間変化  
齊藤昭則・西岡未知(京大理)・津川卓也(名大 STE)
- 15:40-16:00 大気光イメージング観測による赤道域重力波の統計解析  
鈴木臣・塩川和夫・大塚雄一・小川忠彦(名大 STE)・  
久保田実(NICT)・堤雅基(極地研)・中村卓司(京大 RISH)
- 16:00-16:20 SEALION イオノゾンデネットワークを用いた  
プラズマバブルの発生と背景電離圏構造の関係に関する研究  
齋藤享・丸山隆(NICT)

○セッション 3: 赤道域における大気構造と物質分布(座長: 長澤親生)

- 16:20-16:40 赤道大型高機能ライダーの最近の観測状況  
長澤親生・阿保真・柴田泰邦 (首都大システムデザイン)
- 16:40-17:00 多波長共鳴散乱ライダーによる赤道中間圏界面の金属原子層と気温観測  
柴田泰邦・阿保真・長澤親生 (首都大システムデザイン)
- 17:00-17:20 赤道レイリーライダー観測で得られた成層圏／中間圏の気温と波動の解析  
野島介(首都大工)・阿保真・長澤親生・柴田泰邦  
(首都大システムデザイン)
- 17:20-17:40 コトタバンにおける対流圏エアロゾル、成層圏エアロゾル及び  
シーラスの climatology  
阿保真・長澤親生・柴田泰邦 (首都大システムデザイン)
- 18:00-20:00 懇親会 (会場: カンフォーラ)  
(懇親会は有料です。出席希望をお知らせください(末尾参照))

---

9月15日(金)

○セッション 3: 赤道域における大気構造と物質分布(座長: 長澤親生)

- 9:20-10:00 大気境界層の運動に伴う波と雲の発生 (招待講演)  
藤吉康志(北大低温研)・山下和也・藤原忠誠 (北大院環境科学)

○セッション 4: 赤道域における大気波動の微細構造(座長: 佐藤 亨)

10:00-10:20 マルチスタティック観測データのアダプティブ信号処理  
西村耕司・原田知幸・佐藤亨(京大情報学)

10:20-10:40 赤道大気レーダーの衛星回線の降雨減衰特性と降水雲分布測定の  
比較について  
辻野慎一・前川泰之・柴垣佳明(大阪電通大)・佐藤亨(京大情報学)・  
山本衛・橋口浩之・深尾昌一郎(京大 RISH)

==== 休憩 ====

○セッション 5: 赤道域における対流雲発生機構と降水システム (座長: 古津年章)

11:00-11:40 全球降水観測(GPM)計画における降水強度推定方法 (招待講演)  
井口俊夫(NICT)

11:40-12:00 「赤道域における対流雲発生機構と降水システムの研究」の概要  
古津年章・下舞豊志(島根大学)・児玉安正(弘前大学)・  
高薮縁(東大 CCSR)・柴垣佳明(大阪電通大)・藤吉康志・  
川島正行(北大低温研)・古本淳一(京大 RISH)

(12:00-13:00) ==== 昼食 ====

○セッション 5: 赤道域における対流雲発生機構と降水システム (座長: 古津年章)

13:00-13:20 CPEA1 特別観測期間の雲・降水活動に関連した UTLS 領域の特徴  
柴垣佳明(大阪電通大)・S. K. Dhaka(デリー大)・  
M. V. Ratnam ・S. Alexander(京大 RISH)・児玉安正(弘前大)・  
古津年章・下舞豊志(島根大)・橋口浩之(京大 RISH)・  
森修一(IORG)

13:20-13:40 CPEA 集中観測期間中における下部対流圏内水蒸気密度の時間変動  
下舞豊志・古津年章(島根大総合理工)・橋口浩之(京大 RISH)

13:40-14:00 CPEA-I 多地点高層観測データによる熱・水・運動量収支解析  
児玉安正・徳田弥夏・谷澤宏樹(弘前大理工)

- 14:00-14:20 CPEA-II 期間中に X バンドドップラーレーダーで観測された  
降水システムの特徴  
川島正行・藤吉康志(北大低温研)・木村慎吾・  
須賀和彦(北大地球環境)・大井正行(北大低温研)・  
古津年章・下舞豊志(島根大総合理工)
- 14:20-14:40 CPEA-I 期間中に観測されたスマトラ島における対流セルの構造の  
統計的特徴  
櫻井南海子(JAMSTEC, IORGC)・清水慎吾(NIED)・  
川島正行・藤吉康志(北大低温研)・下舞豊志(島根大総合理工)・  
山中大学(JAMSTEC, IORGC)
- 14:40-15:00 スマトラ島沿岸日周期西進雲システムの観測研究  
浜田純一・森修一・櫻井南海子・伍培明・佐々木太一・  
山中大学 (JAMSTEC, IORGC)・Fadli Syamsudin (BPPT)

==== 休憩 ====

- セッション 6: 赤道域における大気波動の四次元構造とエネルギー輸送  
(座長: 津田敏隆)

- 15:20-15:40 赤道域の大気波動の 4 次元構造とエネルギー輸送の研究  
— 研究の総括 —  
津田敏隆 (京大 RISH)
- 15:40-16:00 Gravity wave activity during the 2nd CPEA campaign and long-term variations  
over Indonesian Region  
M. Venkat Ratnam・津田敏隆(京大 RISH)・古津年章(島根大総合理工)
- 16:00-16:20 Modulation of tropopause temperature structure revealed by simultaneous  
radiosonde and CHAMP GPS measurements  
M. Venkat Ratnam・津田敏隆(京大 RISH)・森修一(IORGC)・  
古津年章(島根大総合理工)
- 16:20-16:40 Characteristics of short period (2-3 hours) gravity waves observed with EAR  
and hourly soundings during CPEA II campaign  
M. Venkat Ratnam・S. Alexander・津田敏隆(京大 RISH)・  
柴垣佳明(大阪電通大)・下舞豊志(島根大総合理工)

16:40-17:00 An Equatorial Tropospheric Gravity Wave Climatology using VHF Radar,  
Satellite and Rainfall Data

S. Alexander・津田敏隆(京大 RISH)・柴垣佳明(大阪電通大)・  
下舞豊志(島根大総合理工)

17:00-17:20 Intraseasonal variability in the MLT region and its relation to tropospheric MJO

S. Sridharan・津田敏隆(京大 RISH) 他

=== 休憩 ===

○ 閉会セッション: 赤道大気上下結合の解明に向けて (座長: 深尾昌一郎)

17:40-18:10 総合討論

---

お願い

(1) 懇親会について

参加費: 4,000 円 (学生 3,000 円, いずれも予定)

会場: 京都大学生協レストラン「カンフォーラ」(京大正門前)

[http://www.s-coop.net/time/shop\\_camphora.htm](http://www.s-coop.net/time/shop_camphora.htm)

申込: 9月7日(木)までに、出欠を京大・佐藤研の木村さん(E-mail:  
y-kimura@aso.cce.i.kyoto-u.ac.jp, FAX: 075-753-3342)までご連絡下さい。

(2) プロシーディングについて

特定領域研究「赤道大気上下結合」の研究成果の取りまとめの一環として、公開ワークショップのプロシーディングを作成いたします。つきましては、発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

用紙: A4 縦

ページ数: 4~10 ページ

締切日: 2006年11月17日(金)

送付方法: WORD, PS または PDF ファイルを電子メールにてお送りください

あて先: 電子メール: yamamoto@rish.kyoto-u.ac.jp,

nokada@rish.kyoto-u.ac.jp (両方にお送りください)

郵送の場合は下記宛に送付

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学生存圏研究所 山本 衛

電話 0774-38-3814

備考 白黒印刷で作成します。図面・写真は網掛け処理を願います。